

ACR療法（多血小板血漿（PRP）注入）施術説明同意書

皮膚老化の再生を図るために、自己多血小板血漿（以下PRPと略す）の皮膚への注入を行います。上腕骨外上顆炎、アキレス腱炎、膝蓋靭帯炎、足底腱膜炎など腱付着部由来の痛みおよび、肘膝足などの靭帯損傷、筋断裂などの軟部組織の損傷に対する治癒促進のため、自己多血小板血漿（PRP）の罹患部位への注入を行うことを勧めます。PRPはご自身の血小板を濃縮した成分で、この中には罹患組織の再生を促進する様々な成長因子が含まれています。PRP作製作業は、清潔操作で行われ、かつ自己血液であるために、他人からの病気がうつる、あるいは感染症を起こす心配は基本的にありません。

説明

- 施術前に治療部位に表面麻酔を行います。
- 静脈血採血による合併症は極めて稀ですが、失神・吐き気・静脈炎・内出血斑・神経損傷を起す可能性があります。
- PRP注入後、腫れや内出血が起こります。
- PRP注入液を作製するためには、通常10ccの静脈血を片側の肘の静脈から採血します。
- 血小板活性を促すためにアドレナリン含有リドカインを少量加えます。
- 施術後にホットタオルで加温します
- 他の治療法との比較：神経ブロックとは機序が異なり、類似する方法はありません。
- 治療費は5万円（別途消費税）です。
- PRPは保管せず、移動しません。
- PRP作製に関わる材料（血液）及び器材は医療廃棄物として処理します。
- 本治療は「自己血小板血漿（PRP）を用いた美容療法」（計画番号PC3150067）という名称で、特定非営利活動法人日本アンチエイジング医療協会認定再生医療等委員会（認定番号NB3150019）における審査の後、厚生労働大臣に再生医療等提供計画を提出しています。また、定期報告義務を有します。
- お問い合わせ及び苦情は下記にて対応します。

PRPの治療効果

□PRP注入は、完全に痛みを改善するものではなく、個人の自然治癒力を利用しているため、徐々に改善するが、その治療効果に個人差があること及び治療効果を保証するものではありません。また、痛みの程度によっては複数回の治療が必要となることがあります。

前述の処置の本態と目的及びその実施に関わる危険性を十分説明しました。

私は全ての質問に私の能力最善を尽くして答えました。また、これからも答えるつもりです。

説明年月日： 年 月 日

管理者・実施責任者・説明者： 院長 鳥居 圭

問い合わせ窓口：名古屋麻酔科クリニック電話：052-757-3326

同意

私は、この技術を使った治療に対する同意を施述前であればいつでも撤回することは自由であることを知っています。

私の同意の撤回は治療を引き続き受ける資格を損なうものではありません。もし、治療期間中に疑問を持った場合には、医師に電話及び診察で尋ねることができます。

守秘義務

私は、医学的情報は法律で要求される期間、秘密を守って保存されることを理解します。ただし、私個人を特定できないような情報は、私の許可がなくても、教育や研究に使用してもかまいません。

この書類の理解

私は以上の処置とそれに伴う利点、危険性について完全な情報の提供を受けたことを確認します。決定まで十分な時間をかけ、決定は私の意志で行いました。

私は、PRP注入液を皮膚に注入することに同意します。

同意年月日 年 月 日

本人氏名（自筆署名）

保護者・代理人（自筆署名）

*本人が未成年または同意能力がない場合のみ署名してください。